

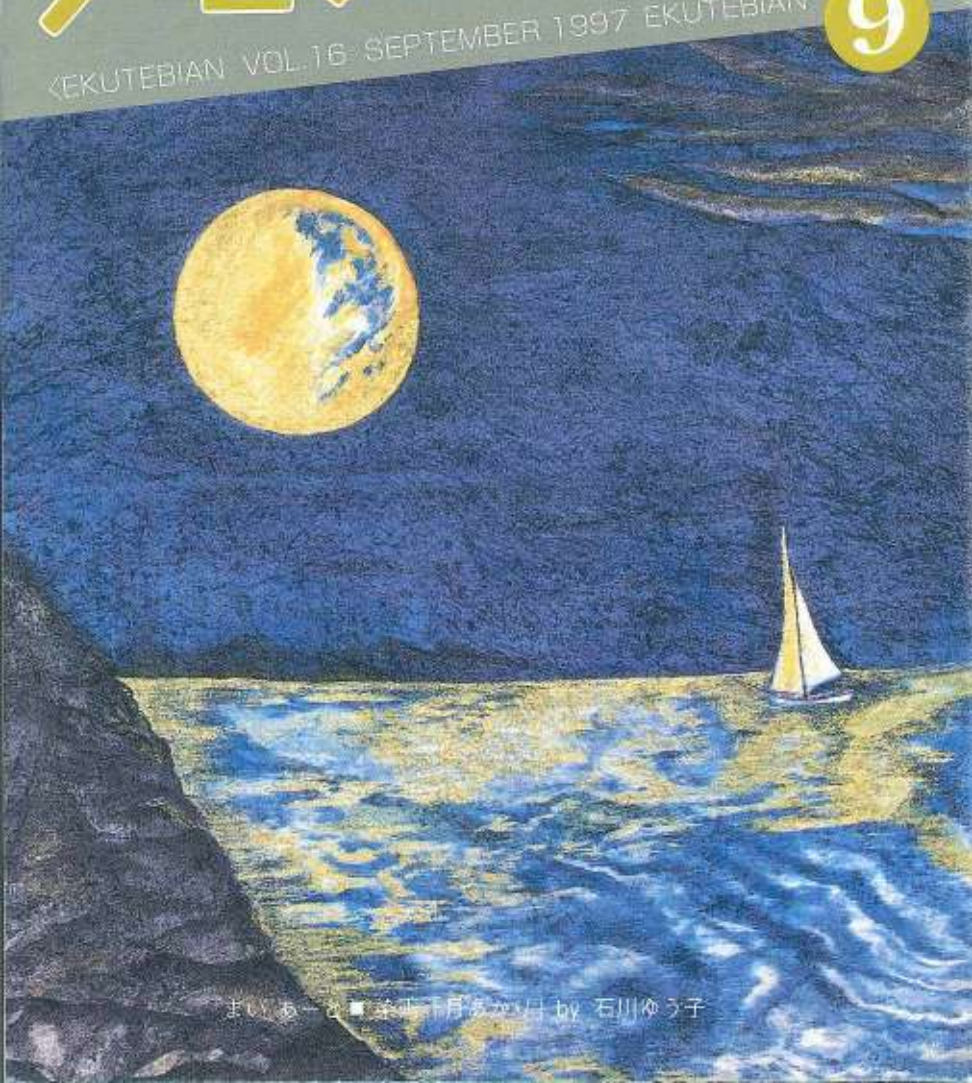
月刊

立川と語るう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN VOL.16 SEPTEMBER 1997 EKUTEBIAN

9



まいあーが ■ 茶屋の月夜が1月 by 石川ゆう子

シソ科

シモバシラの花

撮影：宮城六郎 (A)

渋谷綾子 (B)

宮城直子 (C)

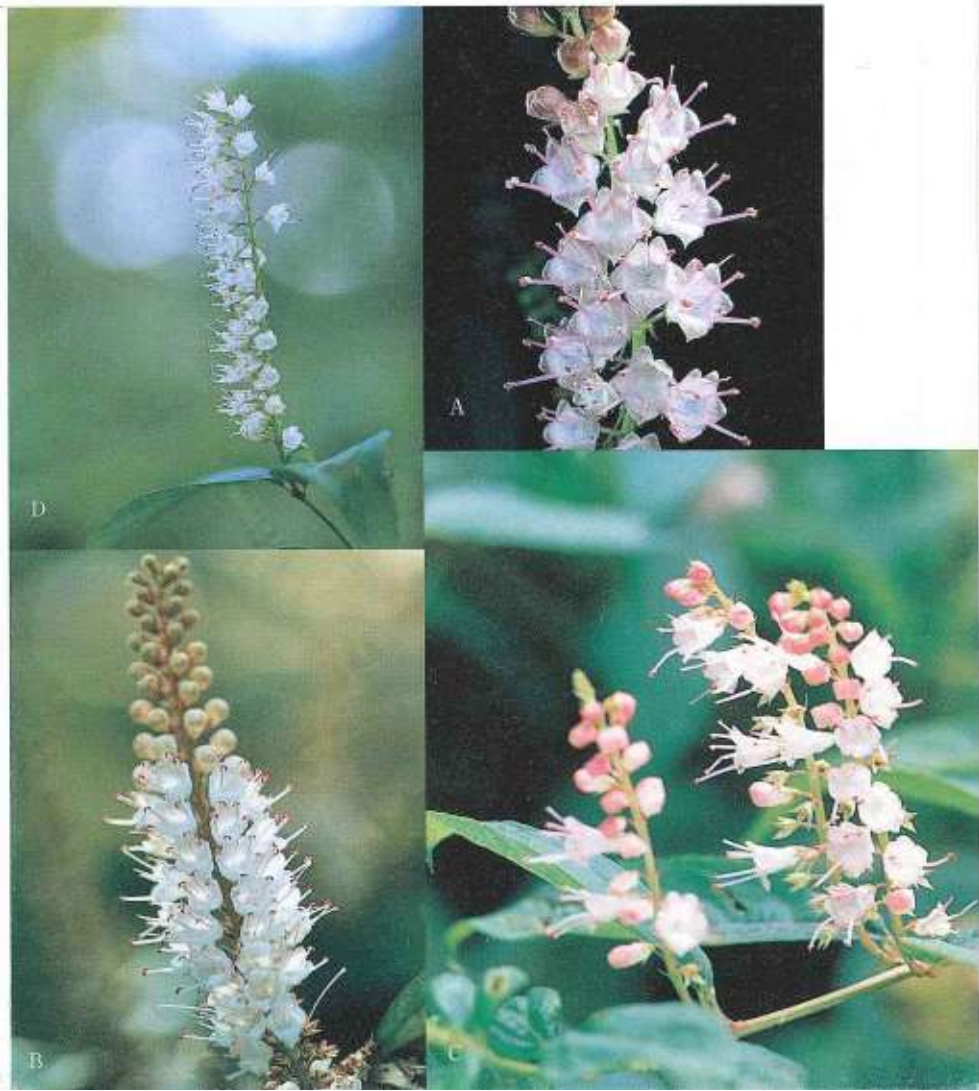
青木和夫 (D)

秋の初めに咲くシモバシラの花は、シソ科独特の白い小型の唇形花を多数付けるが地味なので知らない人の方が多い。中には、ピンク色をした美しい花もある。

ところが冬のシモバシラの方は、有名になりすぎ、高尾山ではとうとう自然保護のため立入り禁止の柵まで作らなければならなくなったようである。

霜柱で冬枯れた茎に氷の結晶ができるので名付けられた。別名ユキヨセウ。

シモバシラの花





石井好子



ビーコ



芦野 宏

◆えくてびあんレポート◆

おくればせの 巴里祭

立川シャンソン・フォリー コンサート

シャンソンの魅力に夢中になることを“シャンソンフォリー”と呼ぶという。
 ここにとってもシャンソンフォリーな人がいるとする。
 それは「わが街で巴里祭を開きたい」と考えてしまうくらいだから筋金入りだ。
 その人は動いた。そして動かした。
 ついに今夜、立川で初めての巴里祭が開かれた。当代きってのトップシンガーと
 多摩在住のシャンソンフォリーたちの競演。あの石井好子さんと、わが立川の
 女声合唱団「フェリーチェ」が同じ日、同じステージに立っているという光景。
 ひとりの“フォリー”がみんなの“フォリー”となる瞬間だった。
 (8月1日・アミューたちかわ)



山森義之



末永晶子



丸山 穂



朱島よし子



山本 愛



森 貴子



釘本涼子



島路陽子



麻生ミエ



井上みちこ



伊東悦子



西 ナオコ



フェリーチェ

羽衣町	羽衣町2-27-9 ☎26-3643	美宮室リラ	若葉町1-11-1 ☎36-3048
文具の ないとう	羽衣町2-33-1 ☎22-3677	ふじみサイクル	若葉町1-12-4 ☎36-7166
中島豆腐店	羽衣町2-12-34 ☎22-5732	エッソ石油	けや台ステーション 若葉町2-1 ☎35-3081
洋菓子 ケーキスタジオ35	羽衣町2-6-1 ☎27-6808	いなげや	若葉町店 若葉町3-21-1 ☎37-4199
赤松タバコ店	羽衣町2-42 ☎24-7852	さくら	栄町2-46-3 ☎36-8285
ロッテリア 立川駅前店	幸町4-38 ☎37-4413	永光薬品	栄町2-58-7 ☎36-0260
たちばな	幸町5-2-16 ☎37-0347	メンズカット ヤザワ	栄町2-59-8 ☎36-6716
BSタイヤショップ 佐藤商会	幸町5-10-2 ☎37-0912	多摩中央信用金庫 栄町支店	栄町2-59-8 ☎36-9711
いなげや 立川南店	幸町1-23-6 ☎37-1820	手打ちそば 信更	栄町5-12-1 ☎37-0991
東京靴流通センター	砂川町1-50-4 ☎37-3641	相模屋 酒店	栄町5-61-8 ☎36-2476
JA経済センター 立川店	砂川町2-44-3 ☎36-1824	森田接骨院	栄町6-6-25 ☎35-6240
JA東京みどり 立川支店	砂川町2-44-3 ☎36-1821	寿司 由	栄町2-2-8 ☎22-3733
紀ノ国屋 立川店	若葉町1-13-2 ☎36-1604	関田 酒店	栄町2-2-17 ☎24-2960
ふとんの 青木寝商	若葉町1-8-1 ☎36-6833	カフェレストラン ほまれ屋	栄町2-4-15 ☎26-2232

えくてびあんの輪

人があて、街があります。
あなたがあて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん/
リストのお店にはいつでも えくてびあん/

ファッションハウス ほまれ屋	栄町2-4-15 ☎25-2788	キャノンO1ショップ	栄町2-3-6 ☎28-1501
オーロール焼きたて 立川店	栄町2-4-15 ☎27-9473	コミュニティストア はなむら	栄町2-3-9 ☎22-2491
北京大飯店	栄町2-4-19 ☎22-6393	ブティック リッチ	栄町2-3-10 ☎28-2054
ななや	栄町2-4-22 ☎25-6980	コマツホーム	栄町2-4-6 ☎25-5811
ほだいで樹	栄町2-4-18 ☎28-0556	映茶キャリー	栄町2-4-7 ☎28-2630
田中星美堂薬局	栄町2-5-3 ☎22-3913	かみゆい処 わ	栄町2-4-8 ☎22-8202
菊川園	栄町2-5-6 ☎26-2035	芹沢ガラス店	栄町2-4-8 ☎22-3065
café コロラド	栄町2-5-8 ☎26-2285	小室園	栄町2-4-8 ☎22-2894
マエダ文具	栄町2-6-2 ☎25-6584	ビジネスホテル クボタ	栄町2-12-23 ☎22-1122
中華料理 みよし	栄町2-10 ☎25-3873	いなげや 立川南口店	栄町2-12-24 ☎26-2947
石原薬局	栄町2-10-3 ☎23-4067	輪 輪 館	栄町2-12-17 ☎22-8100
ラ・パンパ	栄町2-3-3 ☎24-5800	手造りのお弁当 くりや	栄町2-9-3 ☎23-2590
ユウ都市企画	栄町2-3-13 ☎28-2566	立川高等芸術学院	栄町2-9-4 ☎22-3424
マイシティハウス 立川南口支店	栄町2-3-6 ☎26-0148	スタジオ 269	栄町2-8 ☎27-0269

えくてびあんエッセイ●No.52

翔んで発句

立川教育振興会理事 伊藤 令



穏やかな春の日、ヘリコプターで空を飛び、俳句を作るといふ会に誘われました。実はヤッポと声高らかに呼びかけられた。いぬが、私にはほんの少し高所恐怖症の気味があり、どんなことにもなるのか少し不安な気持ちを隠すことができませんでした。去る年の冬に階段から落下、その時から下の見える階段は駄目、囲みのない高い所は駄目、様々な場所で折角の美しい風景、珍しい光景を目にするのができなかつたことが度々あり、残念な口惜しい思いをしたことがありました。しかしこの度は階段ではない、自分の足を運ぶのではない、体は或る程度固定される、なんといいながらも囲みがあるということが階段とは違います。実はヘリコプターは二度目であり、飛行機に乗ったこともあり、乗り物でいえば自動車と飛行機の間を行く物と思っっています。少し滑走して乗り上がり、無事地上に降り降りてすぐしつかり大地を踏みしめられる気持ちは、ヘリコプターならではの感動でした。「釣の眼」や「亜細亜の暁」といった、血湧き肉躍るといふものではなく、飛ぶ、誰にも知られないで空を飛ぶということ、そんな気分も多分に持ちながら地上に降り立ったように思います。

空を飛び、舞い、俳句を作るといふ目的もあり、十五分間程の搭乗の間、目は上下左右に動き、頭の中で文字を並べるといふ

ハードな時間をもちました。ジョンナ・スイフトのガリバー旅行記を思い出して、ゆうゆうとガリバーが多摩川の上空から見降ろしているような、また鳥になった気分でも、ミニカーが走り、西武球場の上空では日本シリーズの熱戦を思い、美しい白、ピンク、緑、そして枯葉色の地上。ダービーの興奮を思い起こさせる東京競馬場。ゆるやかに、たおやかに霞の中を航行する多摩川。昭和記念公園。多摩の山脈も、自然の美と人工の美も、それなりに広々とした大好きな大地。季節は春(ふく)としした香りの清ら始めとして若葉の萌える季節であり、賑やかな記憶と、鮮やかな記憶との入り交じる不思議な時間を持ちました。忘れてはいけません、私にとっては初の吟行会、句会であることを。記念すべき嬉しい日になりました。素晴らしい方々の間にいらして頂き、ドキドキしながら発句、五句をやつたの思いで書くことができ、句会とはこのようなものなのか、と改めて俳句を見直しました。未熟者の私の句を選んで下さる方もあり、なんとなく自分も捨てたものではないかと錯覚さえ起こしそうな句もあり、ともかく新しい発句が多すぎて、心も氣持も舞い上がった春の一日でございました。

こんなにも穏やかな春初吟行 観部と梅々香を持ち大空へ 霞中多摩川もまたゆつたりと

私だけの『デジタル絵本』

～夢をかなえる「発明」は立川から～

「絵本の世界に飛び込んで『キティちゃん』とすつとすつとつよにしたい」
錦町5丁目印刷会社を営む山田廣司さん(54)は、そんなこどもたちやファンを叶える『デジタル絵本』を開発。現在、多摩市にあるテーマパーク『サンリオピューロランド』で販売されており、連日長蛇の列の人気を博している。コンピューターを駆使したこの絵本、なんと買った人自身が主人公。キティちゃんやその他のキャラクターが自分の家に遊びに来て、一緒にパーティーまで開いてしまうというストーリー。もちろん誌面にはキティちゃんたちと並んで自分の姿が描かれているという、まさに世界で1冊しか存在しない絵本なのだ。



「人の真似では意味がない」山田廣司さん。

『デジタル絵本』が出来るまで



まず、デジタルカメラを使って写真撮影。とびせりの笑顔で「ハイ、チーズ!」



撮影した画像をコンピューターに取り込んで絵本のページにレイアウト。



レイアウトが完了したら、特殊なインクを使用した印刷機でプリントアウト。

「人の真似をするのが嫌いでね。ウチにしかない、ウチにしか出来ないものじゃ無い」と意味がないんですよ。山田さんは開口一番こう言った。フィルム会社勤務を経て独立、株式会社大野社を設立して二十七年になる。地域に根ざした出版・印刷の在り方を見続けながらも、早くからDTP(コンピューターによる印刷工程管理)システムを導入するなど先端の動きにも対応、枠にとらわれない自由な発想で会社をまとめている。

「以前、高橋不動の参拝客のために、記念のタペストリー(壁掛け)を作ったんです。お客様の顔を真ん中にプリントしたのもなんですが、それが割と好評で。発想はそれに近いんですね」

「印刷の会社ですから、出版の分野でこの発想を生かせないかなと考えていたんです」

山田さんの構想を一念に形にしたのは、コンピューターによるデザイン技術の進化である。通常の印刷・製本の工程では「1冊づつ違う本」など到底不可能。コンピューターによるデザインが当たり前になりつつある現在だからこそ、実現化したアイデアだ。デジタルカメラで撮影した映像をそのまま入力し、あらかじめ指定されていたページの余白にレイアウトすればできあがってしまう。

「問題はプリントする際のインクです。水や汚れに強くて長くもつインク。その特定に一番時間をかけました」

試作を何度もくりかえし、プリントの問題もクリア。絵本というスタイルを確定して対象を幼児にしよう、企画を、あのキャラクターグッズの絵本山と見えて「サンリオ」に持ちこんだ。

「サンリオの社長さんも驚いていました。『こんなことが出来るのか?』と子供たちが喜んで」と言ってくれました。

「『キティちゃん』などキャラクターの使用権を得て、ピューロランドでの販売が実現した。

完成した絵本を大事に抱えて、嬉々として家路につくその背中に深く頭をたれる外羨さん。

「翌朝出向いたら、その方が待っているんです。『どうしても欲しくて、夕べはホテルに泊まっちゃいました。』(笑)」

今日中に静寂に帰らなくてはいいけないというお客さんが来たのは元本の在庫が切れてしまった後だった。お詫びをして帰っていったくしかない。

「翌朝出向いたら、その方が待っているんです。『どうしても欲しくて、夕べはホテルに泊まっちゃいました。』(笑)」

出来あがった本をじつと見つめ、自分がキティちゃんや並んでいるのが信じられないといった顔の男の子。『キティちゃん』と一緒だね』と言う母親に大喜びで抱きつくと、彼の今日の枕許に、またこの絵本が置かれていくだろう。

ひとりひとりがありがとうと声をかけ、本を手渡す外羨さんとスタッフの姿に、夢を「創る」仕事をする人の喜びが映し出されている。

◎あたたかく、さわやかに、ひとにやさしい、リデールバンク

◎あからはじまる あさひ銀行

真味百撰

小菜もよし、各種コースもよし 本格北京料理を安価で楽しめる いつ行っても「あたたかな」店

中国飯店 精華楼

栄町2-29-7 ソシアビル7F ☎29-2877
11:30~14:30、17:00~23:00 / 年中無休



今から10年前、中国から日本に渡ってきた戦さん一家。松中団地(一番町)に住み、お祭りで手作り餃子の屋台を出したところ、これが大好評。これを機に「よし、家族で力をあわせ飯店を開こう」と長男の康さんが都内で6年間の料理修業、平成6年に開店した。以来、名店への道を着実に歩む「精華楼」だが、店長格のお母さんを中心に皆で店を手伝うという家族の姿は今も変わらない。

炒飯や五目かけご飯といった馴染みの品から中国独特の東膳料理に至るまで、康さんのレパートリーは驚くほど広い(メニューは300種にも及ぶ)。そのエッセンスを手軽に味わいたい方は精華楼弁当(写真・1,000円)がおすすめ。旬の材料をふんだんに使ったお弁当のおかずは、季節によってその種類も調理法も変わる。2種の主菜にお新香・スープ・ライチのサラダ、さらに肉焼餅が1個ついてこの値段は確している。1皿500円からの小菜(小皿料理)を沢山楽しむのも一興。また各種フルコースも2,500円から設定され宴会などにも便利。特に9月末までの夏季限定で、料理5品で2,000円のコース(2~8名のグループのみ)も行っている。

駅から徒歩3分の近さだが、看板などを出していないため少々わかりづらいのが難点。上記の地図を参考に目的のビルに着いたら、エレベーターで7階に向かっていただきたい。戦さん一家が笑顔で出迎えてくれる。

東風

8月1日に行われた「ジャンソン・フォー」(アミュータカ)を聴いて、胸高鳴るものがあつた。かつて巴里十五区、ミラボー橋界隈に住んでいたことがある。アポリネルの名高い詩「ミラボー橋」のある所である。そして、この詩にレオ・フレというジャンソン歌手が自らメロディーをつけて歌っているのを聴いたことがあつた。多々のものではなかったが、ジャンソンのジャンソン歌手は、自らの詩に曲をつけて歌う場合が多い。その典型をしばしば、カーブで見かけることがある。カーブというのは穴蔵のこと。地下の薄暗い一室でワインなどの飲物が供され、ギターを抱えた歌い手がつづやくように歌っている。何を歌っているのか、昨日今日のエトランジェに解るわけもないが、あのカーブの空気は忘れ難いものがある。カーブの歌手はおおむね無名だが、ラジオやTV、レコードで聴く有名歌手、ジャック・ブレール、ジョルジュ・ブラッサン、ジャック・アズナムスター、バルバラ、ジュール・ヌムスター等、さすがにヒット曲も多く、一度でもリサイタルに行こうものなら、それこそ「どりこ」(フォー)になつてしまふ。ブレールもブラッサンももうこの世の人はない。替わつて、新しい世代のジャンソンが登場してきている。アミュータカかわの一夜は、限らない追憶の旅へと誘つてくれた。えくてびあんに、更にもっと、おもふ天

心頭滅却

雑念を払い、無念無想の境地に達すれば火もまた涼し。徳川・徳川の猛攻で武田勝頼は織田を捨てて菩提寺の恵林寺に逃げ込んで普賢の目の前で燃える山門の楼上で自決して、泰然自若としてこの句を唱えたといふ。心頭滅却すれば火もまた涼し。これは「やせ我慢」のことではなく、覚悟の持ちかたを云っております。

月刊 えくてびあん 第55号
平成九年九月一日発行
発行所 えくてびあんの編集工房
東京都立川市南町2-17-5
立川ビル6F 〒190
電話 ☎04-25(28)0082
FAX ☎04-25(28)0065
編集発行人 立井雄介
印刷所 晴大書局

立川に育てられて六十一周年
真如苑
栄町2-13 Tel.27-0111(代)

永久保存版
七びつきの笑顔

よるこびの七五三 予約受付開始!

9月・10月中旬に撮影の方は 10%OFF
(11/15前後の混雑いたしますので、お早めの撮影を...)

Studio 269
柴崎町 中央公民館前 ☎27-0269

私の立川原風景 第二回

知久正義（砂川町）



◆ 立川上水 ◆

絵を描くには、その土地の風土を愛することから始まるのだと私は思っている。風土の中に存在している物魂に声をかけ、呼応してくれる迄、何度も通いつめるのである。「立川上水」もその限りではない。通いつめるなか土地の声に出会うのである。その声は、景観をなぞるのではなく、地域の思いとのかかわりをも塗り込めとて言われている様に聞こえる。

（画家）